

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	相談援助の基盤と専門職A (Professional basis of social work practice A)		
ナンバリングコード	E20922	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル 社会福祉
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 前期
必修・選択区分	選択:経営経済学部 コース選択必修:情報メディア学科 情報コミュニケーションコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E042001	クラス名	-
担当教員名	橋本 拓		
履修上の注意、 履修条件	社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な科目です。 聴くこと、見ること、調べること、そして、真剣に考え取り組むことを心がけてください。		
教科書	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編 最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座11 『ソーシャルワークの基盤と専門職[共通・社会専門]』 中央法規出版		
参考文献及び指定図書	立花直樹・小口将典 他編 『ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ(基礎)』 ミネルヴァ書房 相澤譲治監修・植戸貴子編集 『新版ソーシャルワークの基盤と専門職【基礎編・専門編】』 みらい		
関連科目	社会福祉原論、高齢者福祉論、障害者福祉論、児童福祉論、公的扶助論、地域福祉論、社会保障論など		

○基本情報		
授業の目的	①社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけについて理解する。 ②ソーシャルワークの基盤となる考え方とその形成過程について理解する。 ③ソーシャルワークの価値規範と倫理について理解する。	
授業の概要	社会福祉士に必要な知識・技術の習得を目指すために前提となる専門職としての「価値」について、歴史的な背景などをもとに考察していきます。また、地域社会の実情等についても理解を深めていきます。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3)アクティブ・ラーニング	「グループワーク」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ:地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	橋本拓 社会福祉協議会、居宅介護支援センター等において、社会福祉士業務に従事	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	地域社会における課題・ニーズに対し、関心持つとともに地域での生活者の一人として意識することができる。		20点	
【知識・理解】	①社会福祉士の役割と意義②精神保健福祉士の役割と意義③相談援助の概念と範囲④相談援助の理念について理解している。	60点		
【技能・表現・コミュニケーション】	社会福祉分野における現状と課題等について説明することができる。		10点	
【思考・判断・創造】	社会福祉分野における現状と課題等について考察することができる。		10点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
リアクションペーパー等の提出状況(学修に取り組む姿勢・意欲)及び内容(専門知識の活用等) [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 課題のフィードバックについて、希望者には次回以降にリアクションペーパー等の講評・解説を行います。	

○その他

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科目名 担当教員	相談援助の基盤と専門職A（Professional basis of social work） 橋本 拓	授業コード	E042001
学修内容					
1. ・社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ①					
社会福祉士制度創設の経緯・背景、法的定義と義務、制度の見直しの概要などを踏まえながら、地域共生社会の実現に向けて社会福祉士に期待されていることについて理解を深めていきます。					
※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。					
予習	社会福祉士及び介護福祉士法制定時における社会的背景および目的と意義について事前学習				約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成				約2時間
2. 社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ②					
精神保健福祉士制度創設の経緯・背景、法的定義と義務、制度の見直しの概要などを踏まえながら、地域共生社会の実現に向けて精神保健福祉士に期待されていることについて理解を深めていきます。					
※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。					
予習	精神保健福祉士法制定時における社会的背景および目的と意義について事前学習				約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成				約2時間
3. 社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ③					
社会福祉士及び精神保健福祉士の専門性について、事例を取り上げながら理解を深めていきます。					
※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。					
予習	社会福祉士に求められるコンピテンシーについて事前学習				約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成				約2時間
4. ソーシャルワークの概念①					
ソーシャルワークを構成する要素として、クライアントやクライアントシステムおよびニーズについて理解を深めていきます。					
※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。					
予習	ソーシャルワーク専門職のグローバル定義について事前学習				約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成				約2時間
5. ソーシャルワークの概念②					
ソーシャルワーカーの価値・知識・技術を踏まえながら、ソーシャルワーカーの性質について理解を深めていきます。					
※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。					
予習	ソーシャルワーカーに求められる価値・知識・技術について事前学習				約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成				約2時間
6. ソーシャルワークの概念③					
フォーマル、インフォーマルを含む社会資源の種類について、理解を深めていきます。					
※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。					
予習	ソーシャルワークにおける社会資源の具体例について事前学習				約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成				約2時間
7. ソーシャルワークの基盤となる考え方①					
ソーシャルワークの原理について、グローバル定義における諸原理を踏まえながら理解を深めていきます。					
※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。					
予習	ソーシャルワークのグローバル定義における諸原理について事前学習				約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成				約2時間
8. ソーシャルワークの基盤となる考え方②					
ソーシャルワークを支える理念について、福祉の理念に影響を与えた考え方を踏まえながら、ソーシャルワークの理念の変遷を通して理解を深めていきます。					
※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。					
予習	ノーマライゼーションの考え方について事前学習				約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成				約2時間

○授業計画	科 目 名	相談援助の基盤と専門職A（Professional basis of social work	授業コード	E042001
	担当教員	橋本 拓		
学修内容				
9. ソーシャルワークの基盤となる考え方③				
ソーシャルワークの原則について、バ이스ティックの7原則を中心に理解を深めていきます。 ※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	バイスティックの7原則について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
10. ソーシャルワークの形成過程①				
日本、イギリス、アメリカの社会福祉の歴史を通して、ソーシャルワークの歴史的変遷について概観します。 ※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	COS運動およびセツルメント運動について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
11. ソーシャルワークの形成過程②				
イギリス、アメリカのソーシャルワークの歴史を中心に、ソーシャルワークの統合化の流れについて理解を深めていきます。 ※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	医学モデルおよび生活モデルについて事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
12. ソーシャルワークの形成過程③				
日本におけるソーシャルワークの形成過程について、社会福祉法を踏まえながら、理解を深めていきます。 ※レポートの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	地域福祉の推進について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
13. ソーシャルワークの倫理①				
ソーシャルワーク専門職における倫理について、ソーシャルワークの理念を振り返りながら理解していきます。 ※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	自己覚知について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
14. ソーシャルワークの倫理②				
ソーシャルワーク実践における倫理的ジレンマについて事例を通して理解を深めていきます。 ※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	倫理原則の優先順位について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
15. ソーシャルワークの倫理③				
社会福祉士の倫理綱領・行動規範について、ソーシャルワークのグローバル定義も踏まえながら理解を深めていきます。 ※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	社会福祉士の倫理綱領・行動規範の内容について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
16. 期末試験				
期末試験の詳細は第15週目にお伝えします。				
予習				
復習				